

※・「本文」の項に「＝」と表示した文字は、読み仮名（ひらがな）、及び偏・旁・冠など、その文字の構成要素を註記しました（便宜的に「形状」の項に表示します）ので、ひらがなで読みを入力することによって検索が可能です。

（例）𠄎—本文は「＝」。「形状」の項に、「本文「＝」は「みか」。偏が「長」旁が「瓦」と註記する。

検索可能な文字としては、繩（あしぎぬ）、臬（からむし）、腊（きたい）、𠄎（くき）、𠄎（しじゅう）、𠄎（さらけ）、𠄎（しもと）、𠄎（みか）などがあります。

・繩、腊、𠄎、𠄎などの特に頻出する文字は、構成要素の註記を省略しました。

（例）腊—本文は「＝」。「形状」の項に、「本文「＝」は「きたい」と註記する。

・読み方がわからないため読み仮名を省略したもの、記号状で部首も表記できないものもあります。

・報告書の釈文が異体字や合わせ文字を使用している場合も、対応する常用体がわかる場合は、「＝」とはせず相当する文字に置き換え、異体字や合わせ文字であることを註記しました。

（合わせ文字の例） 𠄎→戸主、𠄎→戸口、𠄎→日下、𠄎→菩提、𠄎→菩薩など
なお、𠄎—漆、𠄎—岡のように、異体字関係にありながら実質的に別字として使用されている場合も、同様に漆、岡と表記しました。𠄎は一文字扱いとしました。